

法人概念	自立した心と体の回復を目指して。		
支援方針	一人ひとりのお子さんが持っている『育つ力』を理解し、具体的な生活の工夫をしながら、専門性を活かした療育を提供し、お子さんの発達を支援します。		
営業時間	8:30~17:30	送迎時間の有無	無

5領域		支援内容
健康 生活	健康状態の維持・改善	来所時に職員が検温と健康観察を行います。プログラムの中で、体調の変化への気づきや関心を高めます。
	生活習慣や生活リズムの形成	チェックシートを活用して身だしなみを意識し、整える練習を行います。必要性に合わせて、排泄・手洗い指導を行います。
	基本的な生活スキル獲得	
	生活におけるマネジメントスキルの育成	家庭での状況を把握し生活リズムの形成など必要に応じて、トークンエコノミーなどを提供します。
運動 感覚	姿勢と運動・動作の基本的技術向上	トランポリンやオーシャンスイングなどの粗大活動を行います。一定時間の着席姿勢の保持を意識し、必要性に応じ滑り止めマットなどのグッズを活用します。
	姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用	
	身体の移動能力の向上	運筆や筆圧など、書字に関する細かな操作をご本人に合わせた量で提供します。
	保有する感覚の活用	鈍麻や過敏など、様々な入力を分析し、代替物の提供を行ったり、お子さんの発信を大切にその都度個別の対応を行います。
	感覚の補助及び代行手段の活用	
	感覚特性への対応	ご本人の感覚特性に応じた環境設定を行います。
認知 行動	認知の特性についての理解と対応	フォーマルな検査結果をもとづき、セラピストと共に集団や個別のプログラムを作成していきます。
	対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得	個々に合わせた環境設定の中で共同注視、傾聴する機会を提供します。状況の把握や適切な行動について、ワークシートを用いて学びます。
	行動障害への予防及び対応	事前の情報や、ご本人の状況を分析し細かな予告と説明を行いながらすすめていきます。
言語 コミュ	コミュニケーションの基礎的能力の向上	お子さん一人ひとりの発達特性とSSTスケールに基づきスモールステップで取り組みやすい活動を提供します。 要求や選択、拒否などのコミュニケーションの基礎を大切にしながら言語表出やその兆しを逃さず広げます。
	言語の受容と表術	
	言語の形成と活用	
	人との相互作用によるコミュニ	SSTを主としたプログラムの中でより良いコミュニケーション取得をねらっ

ニケー ション	ケーション能力の獲得	た課題を提供します。
	コミュニケーションの手段の選択と活用	その日のねらいに応じたワークシートや支援者の教示などの事前学習を行ったのちに、そのスキルを活用したプログラムを実践し、学びを深めます。
	状況に応じたコミュニケーション	
	読み書き能力の向上	ご本人の能力に応じて無理のない範囲での書字を行います。必要性に合わせて、代筆などの配慮を行います。
人間関 係 社会性	アタッチメントの形成と安定	障がい特性に応じた関わりの中で信頼関係を育みます。
	他者との関わり形成	障がい特性やタイプに応じたグループ構成を行います。 プログラムを通して、ルールを守ることや役割を遂行することを学びます。
	遊びを通じた社会性の発達	
	仲間作りと集団への参加	
	自己理解と行動調整	個別の振り返りを行います。ご本人に合わせたクールダウンを提供します。

※心理士と連携し専門的な視点を持って療育を提供します。

家族支援

お子様と保護者様が一緒に来所いただくことで、養育の流れに応じタイムリーな支援を提供します。

親子同室療育：利用のたびに、保護者様とお子様の状況を共有しより良い支援方法について検討します。

親子別室療育：心理士による家族支援講座を開催します。月ごとに褒め方、伝え方、疑似体験などの勉強会を提供します。

移行支援

- ・現在利用されている小学校などの支援会議に参加し情報の共有に努めます。
- ・就職先との支援会議への参加も行います。

地域支援・地域連携

地域の事業所・地域の学校からの見学の受け入れ。

療育事業所向け研修会の実施。

療育事業所への施設支援。

小学校などへの施設支援。

職員の質の向上

- ・ 外部講師による研修の実施
言語聴覚士：年2回程度 理学療法士：年2回程度 保育士：年2回程度
- ・ 児童発達管理責任者初任者研修、相談支援専門員初心者研修、更新研修など
- ・ その他、院外での研修に参加。

主な行事等

市内体育施設、飲食店への外出訓練
お楽しみ会 など